

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-191511

(43)Date of publication of application : 11.07.2000

(51)Int.Cl. A61K 7/50
A61K 7/32
A61L 2/18
A61L 9/01

(21)Application number : 10-378177 (71)Applicant : NIPPON BUSSEI KK
JC COMMUNITY:KK

(22)Date of filing : 22.12.1998 (72)Inventor : INOUE NORIYUKI

(54) WET PAPER FOR PUDENDUM AND INSANITARY SITE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a wet paper for sanitation in relation to the wet paper for sanitation mainly intended for females in order to keep the pudendum, insanitary sites and sensitive sites clean and impart a refreshing feeling and also capable of cleaning the anus, the armpit, etc. regardless of males or females.

SOLUTION: This wet paper for the pudendum and insanitary sites is obtained by dissolving a suitable amount of a germicide, a deodorant, a deodorizer, an antifungal agent, a detergent and agents capable of providing cleaning effects and a refreshing feeling or a solution of a chemical agent, a natural extracted agent derived from plants, an agent, etc. derived from the plants in clean water or an organic solvent or a mixture solution of the clean water with the organic solvent and wetting a water-soluble paper or a water-soluble paper of a sheet such as polyvinyl alcohol(PVA) containing the water-soluble paper wrapped in an inner surface or a sheetlike material such as synthetic fibers or a nonwoven fabric to be a substrate in stead of a usual pulp paper with the resultant solution. Furthermore, 3-20% of ethyl alcohol and 0.001-5% of a mint, as necessary, are added.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-191511

(P2000-191511A)

(43) 公開日 平成12年7月11日 (2000.7.11)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコード (参考)
A 6 1 K 7/50		A 6 1 K 7/50	4 C 0 5 8
	7/32		4 C 0 8 0
A 6 1 L 2/18		A 6 1 L 2/18	4 C 0 8 3
	9/01	9/01	H

審査請求 未請求 請求項の数 8 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号	特願平10-378177	(71) 出願人	594173577 日本物性株式会社 東京都新宿区西新宿1丁目24番1号
(22) 出願日	平成10年12月22日 (1998. 12. 22)	(71) 出願人	598143918 株式会社ジェーシーコミュニティー 東京都港区南青山5丁目10番5号
		(72) 発明者	井上 典之 東京都品川区平塚2丁目8番1号
		(74) 代理人	100075823 弁理士 嶋本 久寿弥太

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 外陰部および不衛生部位用ウェット紙

(57) 【要約】

【課 題】 本発明は、衛生用ウェット紙、具体的には主に女性を対象にし、外陰部および不衛生部位、敏感部位を衛生的に保ち、爽快感を与えるための衛生用ウェット紙に関するもので、また、男性、女性を問わず、肛門、腋の下などを清潔にするためのものである。

【解決手段】 本発明は、従来の衛生用ウェット紙の問題点を解決するために、殺菌剤、消臭剤、脱臭剤、防カビ剤、洗浄剤、および清浄効果、爽快感を与える薬剤類を清浄な水または有機溶剤、あるいは清浄な水と有機溶剤の混合液に、化学的薬剤、植物由来の天然抽出薬剤、植物由来剤などの溶液を適当な量溶解させ、基材となる水溶性の紙、または水溶性の紙を内面に包設させたPVA (ポリビニールアルコール) などのシートの水溶性の紙、あるいは通常のバルブ紙に代わり、合成繊維、不織布などのシート状素材に湿潤させた外陰部および不衛生部位用ウェット紙としたもので、必要に応じてエチルアルコールを3~20%、メント油を0.001~5%を添加することを特徴としている。

【特許請求の範囲】

【請求項1】殺菌剤、消臭剤、脱臭剤、防カビ剤、洗浄剤、および清浄効果、爽快感を与える薬剤類を清浄な水または有機溶剤、あるいは、清浄な水と有機溶剤の混合液に化学的薬剤、植物由来の天然抽出薬剤、植物由来剤などの溶液を適当な量溶解させ、基材となる水溶性の紙、または水溶性の紙を内面に包設させたPVA（ポリビニールアルコール）などのシートの水溶性の紙に湿潤させた外陰部および不衛生部位用ウェット紙。

【請求項2】必要に応じてエチルアルコールを3～20%、ミント油を0.001～5%添加することを特徴とする請求項1記載の外陰部および不衛生部位用ウェット紙。

【請求項3】通常のパルプ紙に代わり、合成繊維、不織布などのシート状素材を用いることを特徴とする請求項1記載の外陰部および不衛生部位用ウェット紙。

【請求項4】殺菌剤、消臭剤、脱臭剤、防カビ剤として化学的薬剤の酸化亜鉛、塩化アルミニウム、フェノール、イソプロピルメチルフェノール、レゾルシン、パラオキシ安息香酸エステル、フェノキシエタノール、チモール、クレゾール、ヒノキチオール、安息香酸、サリチル酸、デヒドロ酢酸、ヘキサクロロフェン、ウンデシレン酸モノエタノールアミド、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、グルコン酸クロルヘキシジン、塩化リゾチーム等を0.001～5%の濃度で湿潤させたことを特徴とする請求項1記載の外陰部および不衛生部位用ウェット紙。

【請求項5】殺菌剤、消臭剤、脱臭剤、防カビ剤としては、化学的薬剤の代替として植物由来の天然抽出薬剤を用いてもよく、殺菌剤、抗菌剤として、アロエエキス、オウゴンエキス、オウバクエキス、カツミル、ジャクヤクエキス、クチナシエキス、カワラヨモギエキス、シコンエキス、サンザシエキス、セイヨウハッカ、クワエキス、ローズマリーエキス、ラベンダー、エキス、スベリヒユ、スイカズラ、ヒノキチオール、板覧根等、あるいは殺菌・抗菌効果のある他の植物由来剤を0.001～5%の濃度で湿潤させ、または、強酸性水、イオン水などを用いるか、併用したことを特徴とする請求項1記載の外陰部および不衛生部位用ウェット紙。

【請求項6】消臭剤、脱臭剤としては、茶エキス、カフェインエキス、キュウリエキス、紅茶エキス、サンショウエキス、シソエキス、パセリエキス、ハマメリスエキスなど、あるいは、消臭・脱臭効果のある他の植物由来剤を0.001～5%の濃度で湿潤させ、または木酢酸、活性炭等を用いたことを特徴とする請求項1記載の外陰部および不衛生部位用ウェット紙。

【請求項7】高級アルコールエーテル、アルキルエーテル硫酸ナトリウム、アルキルグリコシド、やし油脂脂肪酸アシルーL-グルタミン酸モノトリエタノールアミン、しよ糖、ラウリン酸エステル等の化学薬剤、あるいはオ

ランダカラシエキス、スイカズラエキス、セイヨウニワトコエキス、セイヨウノコギリソウエキス、タイムエキス、トウキンセンカエキス、ノバラエキス、ヤシ油等の植物由来の天然洗浄剤を、洗浄剤として0.001～10%の濃度で湿潤させたことを特徴とする請求項1記載の外陰部および不衛生部位用ウェット紙。

【請求項8】アルコール、メントールなどの化学薬剤、あるいはペパーミント油、レモンオイル、ハツカ油等の天然物由来品を清涼剤として、0.001～10%の濃度で湿潤させたことを特徴とする請求項1記載の外陰部および不衛生部位用ウェット紙。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、衛生用ウェット紙、具体的には主に女性を対象にし、外陰部および不衛生部位、敏感部位を衛生的に保ち、爽快感を与えるための衛生用ウェット紙に関するもので、また、男性、女性を問わず、肛門、腋の下などを清潔にするためのものである。

【0002】

【従来の技術】従来、女性の外陰部を清浄にする方法としては、代表的な方法としてビデで洗浄するものがあり、この方法は従来から広く知られているものであるが、洗浄液は単なる水または温湯であり、殺菌効果や防臭効果を与えるような薬剤は何等含まれていないので、衛生効果は薄く、また、爽快感を与える工夫もなされていないし、洗浄後局部を吹き取らなければならず簡易性にかけ

【0003】

女性には、特に生理時にはいらいら、不快感、肩凝り、腰痛、乳房痛、頭痛、だるさ、腹痛その他の症候群に悩まされることが多く、これを緩和するためにも陰部、外陰部を清潔にしてさっぱりとした気分であることが大切であったが、そのための専用の衛生資材がなかった。

【0004】

類似品としてはウェットティッシュがあり、これで代用することもできるが、これはハイキングなどの際に手をきれいにする、というような目的に作られたものであり、当然ながら女性の外陰部や敏感な部位用に作られていないため、外陰部の殺菌および消臭、清浄化、拭き取り後の爽快感等が考慮されていない。

【0005】さらに従来のウェットティッシュは、トイレにおける使用を前提としていないため、使った後にそのままトイレに流せる紙、すなわち水溶解性紙を使っていないため流すことができず不便であった。

【0006】また、トイレトペーパーで拭くこともできず、トイレトペーパーは紙が薄いため、外陰部を拭いた際に湿り気などで破れることが多く、このときの紙の破片が陰部に付着して女性にとり不快の原因となることが多かった。

【0007】

【発明が解決しようとする問題点】外陰部は不衛生になりがちであり、特に生理時にはより不衛生になりやすく、生理時にはいらいら、不快感、肩凝り、腰痛、乳房痛、頭痛、だるさ、腹痛その他の症候群に悩まされることが多く、不快感がさらに増大される。これを緩和するために殺菌効果、消臭・脱臭効果、洗浄効果があり、外陰部を簡易に拭くことができ、また、拭き取り後は清潔にしてさっぱりとした気分にし、清浄効果、爽快感を与える外陰部および不衛生部位用ウェット紙の開発が課題となっていた。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、従来の衛生用ウェット紙の問題点を解決するために、殺菌剤、消臭剤、脱臭剤、防カビ剤、洗浄剤、および清浄効果、爽快感を与える薬剤類を清浄な水または有機溶剤、あるいは清浄な水と有機溶剤の混合液に化学的薬剤、植物由来の天然抽出薬剤、植物由来剤などの溶液を適量溶解させ、基材となる水溶性の紙、または水溶性の紙を内面に包設させたPVA（ポリビニルアルコール）などのシートの水溶性の紙、あるいは通常のパルプ紙に代わり、合成繊維、不織布などのシート状素材に湿潤させた外陰部および不衛生部位用ウェット紙としたもので、必要に応じてエチルアルコールを3～20%、ミント油を0.001～5%を添加することを特徴としている。

【0009】殺菌剤、消臭剤、脱臭剤、防カビ剤として化学的薬剤の酸化亜鉛、塩化アルミニウム、フェノール、イソプロピルメチルフェノール、レゾルシン、パラオキシ安息香酸エステル、フェノキシエタノール、チモール、クレゾール、ヒノキチオール、安息香酸、サリチル酸、デヒドロ酢酸、ヘキサクロロフェン、ウンデシレン酸モノエタノールアミド、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、グルコン酸クロルヘキシジン、塩化リゾチーム等を0.001～5%の濃度で湿潤させている。

【0010】殺菌剤、消臭剤、脱臭剤、防カビ剤としては、化学的薬剤の代替として植物由来の天然抽出薬剤を用いてもよく、殺菌剤、抗菌剤として、アロエエキス、オウゴンエキス、オウバクエキス、カツミレ、シヤクヤクエキス、クチナシエキス、カワラヨモギエキス、シコンエキス、サンザンエキス、セイヨウハッカ、クワエキス、ローズマリーエキス、ラベンダーエキス、スベリヒユ、スイカズラ、ヒノキチオール、板覧根等、あるいは殺菌・抗菌効果のある他の植物由来剤を0.001～5%の濃度で湿潤させ、または、強酸性水、イオン水などを用いるか、併用したことを特徴としている。

【0011】消臭剤、脱臭剤としては、茶エキス、カフェインエキス、キュウリエキス、紅茶エキス、サンショウエキス、シソエキス、パセリエキス、ハマメリスエキスなど、あるいは、消臭・脱臭効果のある他の植物由来剤を0.001～5%の濃度で湿潤させ、または木酢

酸、活性炭等を用いたことを特徴としている。

【0012】高級アルコールエーテル、アルキルエーテル硫酸ナトリウム、アルキルグリコシド、やし油脂脂肪酸アシルーL-グルタミン酸モノトリエタノールアミン、しよ糖、ラウリン酸エステル等の化学薬剤、あるいはオランダカラシエキス、スイカズラエキス、セイヨウニワトコエキス、セイヨウノコギリソウエキス、タイムエキス、トウキンセンカエキス、ノバラエキス、ヤシ油等の植物由来の天然洗浄剤を、洗浄剤として0.001～10%の濃度で湿潤させたことを特徴とし、さらにアルコール、メントールなどの化学薬剤、あるいはペパーミント油、レモンオイル、ハツカ油等の天然物由来品を清涼剤として、0.001～10%の濃度で湿潤させたことを特徴としている。

【0013】外出時を考慮して、ハンドバッグに入る程度の小型にし、簡単に携帯できるようにも配慮したばかりか、女性が多く集まる病院などの場所における利用を考慮して1箱で枚数の多いサイズにすることを考慮している。

【作 用】

【0014】エチルアルコール（エタノール）ミント油など、爽快感を越えた場合の挙動を与える薬剤を含めるため、かゆみなども抑えられるようにした。

【0015】殺菌剤、消臭剤、洗浄剤として植物由来の天然素材を配合しているのは、肌の弱い人でも利用出来るようにしたものである。

【0016】本衛生用ウェット紙で外陰部あるいは他の敏感部位を拭くことにより、これらの部位における汚れが落ち、臭いも取れ、衛生状態が向上し、また、爽快感が得られるようになった。

【0017】特に生理時には、汚れ（たんぱく質）、汗、オリモノに加えて血液もきれいに落とすことができるようになったばかりか、かゆみなども抑えることができるようになった。

【0018】

【発明の効果】殺菌剤、消臭剤、脱臭剤、防カビ剤として化学的薬剤の酸化亜鉛、塩化アルミニウム、フェノール、イソプロピルメチルフェノール、レゾルシン、パラオキシ安息香酸エステル、フェノキシエタノール、チモール、クレゾール、ヒノキチオール、安息香酸、サリチル酸、デヒドロ酢酸、ヘキサクロロフェン、ウンデシレン酸モノエタノールアミド、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、グルコン酸クロルヘキシジン、塩化リゾチーム等を0.001～5%の濃度で湿潤させているため、消臭効果があり、雑菌などが繁殖しないように工夫されているため、女性特有の疾病であるトリコモナス症、単純性外陰炎、外陰ヘルペス症、外陰ジストロフィー、カンジダ症、外陰腫瘍、バルトリン線炎、プルビトウス、プルバイエ、膣部糜爛、外陰周囲炎、クラミジア、膣炎その他のような女子特有の病気の予防効果があ

るようになった。

【0019】トイレットにおける利用が最も多いことを考えて、水溶性の紙、または水溶性の紙を内面に包設させたPVA（ポリビニールアルコール）などのシートを用いることにより、使用後の紙をトイレットにそのまま投下しても、一定時間後に溶解してしまうため、後処理に問題はなくなった。

【0020】女性が本衛生ウェット紙で外陰部を拭くことにより、汚れ、臭いを落とし、衛生状態を良好に保つことができ、また、拭いた後に爽快感、快適感が生じた。

【0021】さらに生理時に外陰部を簡易に拭くことが

でき、汚れやすい部分を清潔に保つことができるため、生理時の不快感が軽減された。特に従来落としにくかった血液による汚れでも容易に落とし、かつ、殺菌効果で衛生状態を良好に保つことができ、これにより、従来、生理時の外出時に臭いが気になるケースでも臭いが気にならなくなった。

【0022】外陰部以外の用途でも、たとえば排便後の肛門ばかりか、人工肛門も清潔に拭くことにより、爽快感が得られ、清潔な状態が保たれるようになった。

10 【0023】また、腋の下など汗をかき、汚れて臭いを発し易い部位での拭き取り用途においても同様の衛生管理能力があり、消臭効果がみられた。

フロントページの続き

Fターム(参考) 4C058 AA07 AA28 BB07 CC08 JJ07

JJ08 JJ23

4C080 AA07 BB02 BB06 CC12 HH03

JJ06 KK10 LL10 MM02 MM03

MM05 MM12 MM15 MM17 MM18

MM31

4C083 AA111 AA122 AB051 AB131

AB211 AB331 AC101 AC102

AC151 AC171 AC311 AC351

AC471 AC481 AC541 AC641

AC661 AC691 AC781 AC811

AC841 AC852 AD111 AD201

AD221 AD471 AD532 AD551

BB41 BB48 CC24 DD12 EE06